

# 中心児報

発行日：2020（令和2）年12月20日

発行：社会福祉法人 中心会

児童養護施設 中心子どもの家

相模原市中央区田名10125

Tel：042-764-7046

URL <http://kodomo.chusinkai.net/>

Email [kodomonoie@chusinkai.jp](mailto:kodomonoie@chusinkai.jp)

発行責任：所長 丹 清



「真心に育つ」 創設者 常岡一郎 揮毫

今回の「中心児報」は省エネバージョンとさせて頂きましたが、ほんの少しでも当施設の様子を感じ取って頂ければ幸いです。

## 踏ん張った1年、創造の1年

所長 丹 清  
職員 一同

思いもよらない1年になりました。

1月1日、例年通り皆が集まっておこなった「新年を祝う会」の時には、まさかこういう1年になるとは思いもしませんでした。

春、マスクが店頭から消えて当施設でもマスクがなくなりそうになった時に、卒園生の和田君がマスクを届けてくれました。このマスクは、和田君の職場の社長さんのご協力によるものです。マスクも有難かったですが、職場の信頼を得ている和田君を頼もしく思いました。

夏、「小さい子達を楽しませよう」と、中学生のみんなが松田町の寄（やどりき）まで竹を採りに行って流しそうめんをやってくれました。寄の山岸さんご夫妻には、里帰りした気持ちにさせて頂きました。

秋、この状況だからこそ子ども達を楽しませようとの思いで、卒園生の坂本君が子ども一人ひとりに袋詰めしたお菓子を持って来てくれました。まだ働いて何

年も経っていないのに、お菓子を一緒に運んでくれた職場の後輩を指導するまでに成長した坂本君です。努力することの尊さを感じさせてもらいました。

冬、新型コロナ関連の大きな試練がありました。しかし、子ども達一人ひとりのおかげで、きちんとその試練に挑むことができました。今年のスタート時には思いもよらなかったこの1年の、貴重な集大成だったと思います。（詳しくは、当施設のホームページをご覧ください。）

最後に、この1年、子ども達一人ひとりに踏ん張るエネルギーや創造のエネルギーをもらいました。そんな尊い1年だったことを、今年も応援して下さった全ての皆様に感謝を込めてご報告させていただきます。

### ～今年度の親子サロン『おもちゃ箱』～

コロナ禍により、相模原市内のこどもセンターの親子サロンは2021年3月末まで中止となりました。中心子どもの家の親子サロン『おもちゃ箱』も、同様とさせて頂くこととしました。

しかし、おもちゃの病院のある1月14日（木）と3月11日（木）は事前に地域の方より修理するおもちゃをお預かりし、病院の先生に届けることは可能です。その際、お名前・ご連絡先をお伺いします。

また、子育てに関するご相談は引き続きお受けしますので、お気軽にご連絡下さいますようお願い致します。

### ご寄附お礼

【2020年6月30日～9月28日】

会田吉美様、(株)ザ・シティ 相模大野店様、吉村和雄様、岡本史郎様、岡本賢治様  
吉村明子様、溝口愛子様、屋久島東部茶生産組合 藤山武彦様  
公益財団法人日本漢字能力検定協会 普及企画部 普及促進課様、佐伯元光様  
相模原市内の企業（複数）様、ジブラルタ生命保険(株) 厚木支社様、(株)ザ・シティ様  
大河原 京子様、山岸敏子様、(株)地球ファミリー様一、小川達也様、小原君子様  
福中順子様、植野英子様、株式会社三光工芸社 代表取締役 貝塚豊様、加藤 武様  
株式会社三景様、一般社団法人 神奈川県養豚協会様、五十嵐俊恵様、小原成人様  
佐川急便株式会社 CSR 推進部 田部泰弘様、株式会社チュチュアノ1%クラブ様  
公益財団法人 日本教育公務員弘済会神奈川支部様、野地優子様、小林貴浩様  
ナルク神奈川福祉サービス 有志様  
株式会社インタージャック 代表取締役 佐藤善彦様、ABROL PARDEEP KUMAR 様、匿名3名様